

手押しポンプ 取扱説明書

- 今般は、お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
設置に際しまして、必ず専門業者にご依頼くださるよう、お願い申し上げます。

- 製品は、一部分解された状態で梱包されていますので、ピストン一式、水口、ハンドルを組み立ててからご使用下さい。
メーカー出荷時には調整をしておりますが、万が一ピストン及びハンドルの動きが悪い場合は調整の上、ご使用下さい。調整の方法は専門業者にご相談下さい。
無理なご使用をされますと、本体の破損や怪我の恐れがありますので、充分ご注意下さい。

- 「簡単な調整方法」
 - ① ピストンの動きが重い場合
ピストン部の木玉皮付部の皮の部分を金づちなどで満遍なく叩いて、直径を小さくして本体に再挿入して下さい。
 - ② ピストンの動きが軽い場合
乾燥して収縮していることがありますので、水を含ませた状態でしばらくおおくか、ピストン部の木玉皮付部の皮の部分を外側へ押し出し調整の上、ご使用下さい。

- 「注意事項」
 - ① 手押しポンプは、ピストン部分が木製のため、水に長い時間つけておきますと、ピストン部分が膨張して、ハンドルが動かなくなる可能性があります。
なるべく、使用後はポンプ本体に水を溜めないで下さい。
 - ② ポンプを何日も使用せず水が空の状態では放置しておかないで下さい。出来る限り毎日作動して下さい。
 - ③ 使用はじめの時期は黒っぽい水が出ますが、木と皮の塗料が一時的に出るためであり、充分水を汲みだしていただければ、本来の水の色に戻るため、ご心配はいりません。

- 凍結の危険性が考えられる場合は、適切な対策をして下さい。
ピストン一式や改良バルブ等は消耗品ですので、一定期間ご使用の際は、お取替え下さい。
部品のご購入は、最寄り販売店へお願いいたします。

- 台付ポンプの取り付けに際しましては、まず木台板にポンプ下部のフランジ部（ネジ下）を置き、台締めボルトを挿入する穴を開けた上、本体を組み立てして下さい。（出荷時には穴はあけておりません）
設置時は、台板の固定とポンプ本体の組み立て調整を充分確認し、又管漏れが無いことをご確認下さい。

ご使用の際は、設置専門業者の説明をよくお聞きいただき、安全かつ長くご使用いただきますよう宜しくお願い致します。

平成 25 年 7 月 吉日

株式会社慶和製作所 代表取締役 田中康晴